

令和4年2月24日

池田町長 甕 聖章 様

池田町教育長職務代理者 小澤 裕子

会染保育園老朽化への対応（環境改善）について（最終答申）

1 はじめに

第2次教育大綱が掲げる『子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり』の基本理念の下、幼児期は将来の『根っこ』になる最も大切な期間であると捉え、令和2年度から3年度にかけて学びの郷活性化委員会の下に研究部会を設置し（R2年度幼児教育あり方研究部会、R3年度教育大綱普及推進研究部会に名称変更）、平成27年度の会染保育園建設検討委員会での協議から始まっている、会染保育園の老朽化に伴う環境改善について検討して参りました。

令和2年度の検討結果を「中間答申」として報告し、令和3年度は以下に示す経緯の検討を重ね、また町民の皆様から貴重なご意見を頂き、この度最終答申をまとめました。

教育大綱の目指す「池田町の子ども未来」に確実につながるよう、課題解決に向け、以下の通り答申致します。

2 答申

(1) 実施時期

- ◇ 目標 令和8年度4月より新しい環境で園生活をスタートする
- ◇ 方向性決定までの進め方

| 時期 | 内容 |
|----------|--|
| R4年度～5年度 | 町長部局と教育委員会部局を横断した協議組織による検討、町民・議会との意見交換 |
| R5年度 | 方向性決定 |
| R6年度 | 設計 |
| R7年度 | 工事 |
| R8年度 | 新しい環境でスタート |

(2) 方向性

環境改善のため、以下二つの方法を提案する。

- ① 現地建て替え（浸水被害への防災対策として2階に垂直避難することを可能とするため2階建てを一つの案として想定）

- ② 池田保育園に統合

なお、それぞれのメリット、デメリットは次の通りである。

| | | |
|------------|-------|--|
| 現在の場所で建て直す | メリット | <p>①保小中 15 年プランが進める保育園と小学校接続を進めやすく、幼児教育で重要視されている環境を作りやすい。</p> <p>②池田学問所の精神と同様、地域で見守り育てることにより子どもが健全に育ち、地域も元気になる。</p> <p>③一つの園での園児数が少なくなることにより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりへの理解を深め、丁寧に関わるための余裕が持てる。(人数、空間、時間) ・発達に特徴のある子に対して少人数での丁寧な関わりが持てる。また少人数から大きな集団への関わりがしやすい。 ・園児主体の個の願い、集団の願いで保育が進められやすい。 <p>④池田町の保育園が進めている 信州やまほいく (信州型自然保育) 認定制度の目指す、豊かな自然環境を生かした屋外活動や、地域の伝統文化などを日々の保育に取り入れ、特徴ある取組みを実践しやすい。</p> <p>⑤2園にする事で、その地域に合った保育ができる。1園にすると会染地区の資源 (人・もの・こと) が取り入れにくくなってしまう。</p> <p>⑥園児にとり自分の住む地域が園から歩ける範囲にあることで、地域を知り、愛着が増す。</p> <p>⑦会染地区に保育園があることで、町外へ流出する人口を引き留めることができるのではないか。幼児教育は若い人がその土地に住みたいと思う理由の中で重要である。</p> <p>⑧コロナ明けは地方移住も増えると予想される。会染地区は町の南側に位置するため、安曇野市、松本市等に通勤及び買い物に行くにも便利である。移住するに当たり、その土地に保育園があることは土地を探す人にとって重要要素である。</p> <p>⑨防災面等から自宅に避難する場合に、歩いて送迎しやすい。</p> <p>⑩2階建てにすることにより、浸水被害に備えることができる。</p> <p>⑪会染・中鶴地区の方にとって家からの距離が近く、送迎しやすい。</p> |
| | デメリット | <p>①統合と比較し建設費、維持費がかかる。</p> <p>②建設時全園児を池田保育園で保育する必要があり、園生活、送迎が不便になる。</p> |
| 池田保育園に統合する | メリット | <p>①一つの園での園児数が多くなることにより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賑やかになる。 ・発達等に特徴のある子が大勢の集団の中にいることで、自立と社会参加を見据えることができる。 <p>②保育園の時から町内全ての子どもと仲良くすることができる。</p> <p>③建設費費用、維持費が抑制出来る。</p> <p>④少子化が進む中、人口減社会における対応は重要である。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| デ メ リ ツ ト | <p>①一つの園での園児数が多くなることにより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びをする際、一人で使える空間が狭くなることにより、園児が行いたい遊びがしにくくなる。(例：広い場所を使った積み木、プラレールをどこまでも長くつなげる等) ・遊具で遊ぶ際にも順番待ちをする等充分にやりたい遊びが出来にくい。 ・最適化（益々細分化）を考え、個々の園児の願いで主体的に保育することが難しく、全員に手が入りにくくなる。 ・活動などで移動するのに時間がかかり、その分、活動時間が少なくなってしまう。 ・同年齢のクラスが増えることにより、同年齢の集団で活動する機会が増える反面、異年齢の子と関わる機会が減る。 <p>②一つの園から行く小学校が分かれるので、保小中 15 年プランで目指す会染小学校との接続のための活動がしにくくなる。</p> <p>③会染、中鶴地区からは遠くなり、送迎が不便である。</p> <p>④会染、中鶴地区の住民は保育園が遠くなり、地域の子どもという意識が薄れ、関わりが減る恐れがある。</p> |
|-----------------------|---|

3 要望事項

(1) 方向性決定方法について

- ・ 財政健全化の視点ばかりではなく、幼児教育、保小中 15 年プラン及び保小接続の重要性を充分鑑み決定されたい。
- ・ 地域活性化のために幼児教育施設存在の価値は大きい。より幅広い方の関心を高め意見聴取に努め、最終決定して欲しい。

これから子育て世代となる青年が池田町に住み続けたいとの希望を持つためには幼児教育施設の立地をどう捉えるか、意見聴取の方法を工夫され取り組まれない。

- ・ コロナ明けは地方移住も増えると予想される。良い幼児教育環境を作ることは、移住増につながると前向きな視点を持ち決定されたい。
- ・ パブリックコメントで頂いた意見の中には町公共施設全体の整備から考える必要がある等保育園の環境改善だけでは解決出来ないものもある。今後十分検証、協議を続け決定されたい。

(2) 決定に向け検討に加えて欲しいこと

- ・ 未満児の利用希望が益々増える中、待機児童を出さないためにも小規模保育事業者への民間委託導入を検討されたい。
- ・ 地域の元気づくりのため、会染地区への保育園存続のための良策を検討されたい。

(3) 建物について

- ・ 園舎建設となった場合、気候非常事態宣言をし二酸化炭素排出量実質ゼロ（ゼロカーボン）を目指して取り組んでいる町であるからこそ、断熱効果の高い建物とする、再生可能エネルギーを取り入れる等充分配慮した設計とされたい。
- ・ 現地建て替えの建築案として示した 2 階建てについて、パブリックコメントでは賛成、反対両方の意見が多かった。今後もそれぞれの利点、欠点を充分検討され決定されたい。

4 検討の経過

(1) 中間答申後検討の方向

会染保育園の環境改善について、中間答申では、会染地区に不可欠な幼児教育施設として同地区内に存続させること及び「保小中 15 年プラン」に基づいて会染小学校とより密な連携を図るため、小学校近くに移転することを目指し、会染児童センターの施設活用を提案致しました。

しかし中間答申には安全対策が不十分等の理由で賛同が得られなかったことと、小学校との交流を進める中で、隣接していなくても工夫次第で連携は可能であると認識を改めたため、小学校隣接を最優先とはしないこととし、中間答申は白紙に戻し改めて検討することになりました。

(2) 検討した 3 つの案

方向性について以下 3 つの案を出し、経費の概算を専門家委託により算出し、保育士、町民から意見を頂き検討を進めました。

| 方向性案 | ※建築案 | 建築案提案の理由 |
|-------------------|--------------------------|--|
| A 新築移転 (会染地区へ) | 平屋 | 浸水被害が、現在地より少ないと予測される場所に移転を想定したため |
| B 現地建て替え | 2 階建て | 浸水被害を受けやすい土地であるため、防災対策として 2 階に垂直避難することを可能とするため |
| C 池田保育園に 統合 | 敷地増設、別棟を建設し スロープでつなげる | 令和 8 年度時点での保育園入園児数見込みでは、両園の園児全てが現在の池田保育園で保育することは定員上無理なため |

※建築案は仮のもので決定ではありません

(3) 3 案から 2 案に絞った経過

パブリックコメントの結果を踏まえた協議の結果、次の点から 2 案に絞りました。

- ① パブリックコメントでは 1 番目に池田保育園に統合、2 番目に現地建て替えが良いとの意見が多かったため。
- ② 上記 「2 答申 (2) 方向性」のメリットに記載の理由により、B 現地建て替え及び C 池田保育園に統合の 2 案に絞るとの結論に達したため。

資料

1 部会開催等経過（令和3年度分）

| 年月日 | 会議等の名称 | 検討内容の概要 |
|----------------------|------------------|--|
| R3年5月18日 | 中間答申意見提出者との懇談 | 中間答申の内容について |
| R3年5月26日 | 第1回学びの郷活性化委員会 | 今年度の進め方について |
| R3年6月3日 | 第1回研究部会 | 目的の再確認 議論の焦点 中間答申へいただいたご意見及び意見提出者との懇談内容 部会スケジュール |
| R3年6月10日 | 6月議会定例会予算決算特別委員会 | 今年度議論の焦点 検討資料作成業務委託について |
| R3年7月26日 | 第2回研究部会 | 会染保育園方向性への実現実施時期 改善案 新築移転場所検討にあたり予測できる災害の情報 保育園入園数推計 現施設維持のため必要な改修について |
| R3年8月25日 | 会染保育園検討資料作成業務委託 | 会染保育園の方向性3案検討のため資料作成業務を委託 |
| R3年10月25日 | 第3回研究部会 | 会染保育園方向性の費用概算 3案メリット・デメリット 部会としての希望 今後の課題 答申方向性 環境改善実施時期 町民説明会について |
| R3年11月17日 | 保育士と懇談 | 会染保育園方向性の費用概算 3案メリット・デメリット 保育園入園数推計 実施時期目標について |
| R3年11月17日 | 第2回学びの郷活性化委員会 | 会染保育園の方向性及び町民説明会について |
| R3年11月18日 19日 22日 | 町民説明会 | 会染保育園の方向性3案 費用概算 メリット・デメリット 保育園入園数推計 実施時期目標について |
| R3年11月18日 ～12月9日 | 会染保育園の方向性へのご意見募集 | 会染保育園の方向性3案へのご意見募集 |
| R3年11月29日 | 12月議会例会全員協議会 | 会染保育園の方向性3案 パブリックコメント募集について |
| R3年12月20日 | 第4回研究部会 | パブリックコメント結果、方向性検討について |
| R4年1月25日 | 第5回研究部会 | 部員意見 方向性 答申（案）について |
| R4年2月9日 | 第3回学びの郷活性化委員会 | 方向性 答申（案）について |
| R4年2月24日 | 2月定例教育委員会 | 部会から教育長職務代理へ答申 |
| R4年2月24日 | 町長へ答申 | 教育長職務代理から町長へ答申 |
| R4年2月25日 | 3月議会定例会全員協議会 | 答申報告 |

2 研究部会名簿

池田町学びの郷活性化委員会

令和2年度 幼児教育あり方研究部会 令和3年度 教育大綱普及推進研究部会 名簿

| 役 職 名 | 氏 名 | 部会役員 | 従事期間 |
|-------------------|---------|----------|-------------|
| 教育長 | 竹 内 延 彦 | | R3.12.31 まで |
| 教育長職務代理者 | 小 澤 裕 子 | | R4.1.1 から |
| 教育委員 | 森 泉 恵 子 | | |
| 池田保育園長 | 笠 井 幸 江 | | |
| 会染保育園長 | 丸 山 玲 子 | | |
| 会染保育園保護者代表 | 荒 井 昭 光 | | R2 年度 |
| 同上 | 田 中 齊 | | R3 年度 |
| 池田小学校 校長 | 清 水 令 子 | R3 年度部会長 | |
| 池田小学校 PTA 会長 | 山 本 勇 | | R2 年度 |
| 会染小学校 校長 | 赤 羽 久 人 | R2 年度部会長 | R3 年度 |
| 同上 | 葭 本 直 樹 | | |
| 高瀬中学校 校長 | 秋 山 昇 | | R2 年度 |
| 同上 | 竹 内 秀 昌 | | R3 年度 |
| 高瀬中学校 R2 年度 PTA 会 | 荻 窪 善 明 | | |
| 池田町議会振興文教委員長 | 和 澤 忠 志 | | R2 年度 |
| 同上 | 大 厩 美 秋 | | R3 年度 |

3 パブリックコメント実施の際方向性の資料 4 パブリックコメント結果

別添の通り